

【水上村】 校務 DX 計画

1. 趣旨

水上村では、GIGA スクール構想に基づき、令和2年度から ICT 環境の整備を進めてきました。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められています。

これらの課題を解決するため、本市町村では教職員の働き方改革の一環として、校務のデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた具体的な取り組みを進めることとします。

2. 校務 DX に向けた取り組みについて

(1)校務系及び学習系ネットワークの統合

現在、教育ネットワークを児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」、児童生徒が教育活動で利用する「学習系」の2つに分離しており、教職員一人ひとりに校務用と学習用それぞれ端末を用意し、校務用端末は持ち出しを禁止しています。今後、教職員の働きやすさの向上と教育活動の高度化を目指し、1台の教職員用端末で2つのネットワーク(校務系及び学習系)を切り替えて利用できるようゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき適切にセキュリティを確保しつつ、校務系・学習系ネットワークの統合について検討を進めます。

また、現行の運用において、学習系で生成されたデータと校務支援システムに蓄積された校務系データの連携が困難であること、自宅や出張先で校務処理ができないことなどの課題があります。

これらの課題についても、教職員の働き方改革を推進するために、環境整備を検討していきます。

(2)GIGA 環境・汎用クラウドツールの一層の活用

現在、オンプレミス型の校務支援システムを導入しているため、次期更改時にはクラウド型のシステムの導入を検討し、全ての教職員が情報共有や連絡等に活用できる環境を構築します。一方、「保護者への調査・アンケート」や「保護者からの問合せや連絡」については、連絡用のアプリを導入しています。今後も教職員・保護者の利便性を確保した環境整備を継続していきます。

(3)業務を支援するツールを活用した効率化の推進

教職員の業務負担を早急に軽減するため、まずは既存の業務支援システムの活用方法を研究・実践します。また、オンライン会議ツールを活用し、児童生徒とのリアルタイムでの連絡や学習状況の把握・評価の充実を図るとともに、教職員間の情

報共有を促進し、校務の効率化をさらに推進していきます。

(4)FAX の利用・押印の見直し

クラウドツールを導入して FAX のやり取りや押印作業の見直しを行い、ペーパーレス化を検討します。

(5)不必要な手入力作業の一掃

村教委から学校へデータで名簿情報を提供することにより、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃を目指します。

(6)教育情報セキュリティポリシーの策定

現在、自治体の情報セキュリティポリシーを準用していますが、クラウド上のデータやクラウドサービスを活用することを前提とした教育情報セキュリティポリシーを策定し、国の方向性や現状を的確に把握しながら、よりよい活用ができるよう改正を行っていきます。